

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ R3	プロサッカーチームのキャンプ誘致を図るため、市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、プロサッカーチームのキャンプ受入に適した環境整備を行う。	良質な芝生を維持する為の適正管理	プロサッカーチームのキャンプ誘致件数: 3チーム以上	【今後のスケジュール】 サッカーキャンプ定着化に向けた芝生の適正管理を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 キャンプ実施期間に受入可能な最大チーム数を目標として設定した。
1	④	南城市デジタルアーカイブ実施事業	H30 ～ R3	南城市に所在する文化財等を活用し、観光誘客を図るため、文化財等をデジタルアーカイブ化し、ウェブ上で公開する。またアーカイブを活用した観光誘客コンテンツを制作する。	・歴史資料のデジタルアーカイブ化(1次:6,000点)及び公開 ・文化財観光コンテンツの制作	・歴史資料デジタルアーカイブ化(1次)の完了 ・公開システム仕様の決定、稼働 ・文化財観光コンテンツの稼働	【R3成果目標】 文化財デジタルアーカイブを活用した観光コンテンツの利用者数 延べ1,200人以上 【今後のスケジュール】 R2: デジタルアーカイブ1次、公開システム稼働、活用コンテンツ制作 R3: デジタルアーカイブ2次、コンテンツ追加	【R3成果目標設定の考え方】 他自治体における類似事業の実績を参考とした。
1	⑤	インバウンド受入環境整備事業	H28 ～ R3	外国人観光客の誘客及び満足度確保を図るため、需要調査及び市内における受入体制強化並びに旅行商品開発及び情報発信を行う。	○外国人観光客の動向及び市内における受入実態の調査 ○市内の受入体制強化 海外から短期インターンシップ留学生を招聘し、市内での就業体験を通して、市内事業者等が外国人観光客の視点を取り入れる ○旅行商品開発 先進地視察、商品造成、商品宣伝(モニターツアーを含む)	・斎場御嶽における外国人観光客数 30,000人以上 ・南城市が満足できる観光地となっているか(80%以上)を含め、市に訪れた外国人観光客を対象としたアンケートにより本事業の効果を検証する。	【今後のスケジュール】 開発する旅行商品について、販売目標を設定して販売促進に取り組み、外国人観光客の消費額増につなげる。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ・大多数の外国人観光客にとって満足できる観光地となっていると考えられる値として設定した。 また、本事業の効果についてアンケートにより検証する。
1	⑥	観光交通実証調査事業	R1 ～ R3	観光客の利便性確保を図るため、観光客が市内の観光資源を訪問、回遊するための交通手段を確保する。	バス停から観光資源までの交通手段を検討する実証調査の実施	実証調査の完了	【R3成果目標】 南城市内の観光資源への交通手段が確保され利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより検証する。 【今後のスケジュール】 R1年度に策定した実施計画に基づいた施策を展開し、観光客の市内交通に関する利便性確保を通して観光交流の振興・拡大につなげる。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって利便性が確保されたと考えられる値としてアンケートによる数値を設定した。

R2活動目標(指標): 令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標): 令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑦	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27 ～ R3	観光客の市内滞在時間の延長を図るため、斎場御嶽を活用した滞在型観光プログラムの開発及び普及活動を行う。	・斎場御嶽の観光利用について地域関係者との連携強化、認識共有 ・地域関係者と連携した観光プログラムの開発、モニターツアーの実施 ・聖地観光の普及啓発 シンポジウム開催、聖地所在自治体のネットワーク構築	斎場御嶽を活用した滞在型観光プログラムの開発完了、商品化	【R3成果目標】 滞在型観光プログラムの利用者数：延べ100人以上	【R3成果目標設定の考え方】 他自治体の類似事業を参考に設定した。
1	⑧	南城型エコミュージアム普及・啓発・情報発信事業	R2 ～ R3	市内の地域資源を体系的に整理した観光誘客のツールである「南城型エコミュージアム」について、市内外における認知向上を図るため、市民を対象としたワークショップ及び県内外で展示会を開催し、情報発信を行う。	・市民参加型ワークショップを5回開催する。 ・県内外でイベントを開催する。	・市民参加型ワークショップの参加人数延べ135人以上 ・県内外イベント1日当たりの平均来場者数300人以上	【今後のスケジュール】 資源の保全には地域住民が大きく関わることから、認知度の普及・啓発・情報発信だけでなく、エコミュージアムで培ってきた地域の理解が重要になる。地域の理解が得られることで持続可能性を高めていく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	平和学習受入体制強化事業	H25 ～ R2	沖縄戦の歴史の継承及び戦跡を活用した観光誘客を図るため、糸数アブチラガマの保全工事(落盤対策)を行う。	第2期保全対策工事の実施	第2期保全対策工事の完了	【R3成果目標】 年間来訪者数：108,800人以上 【今後のスケジュール】 ホームページ・SNSを活用し、安心安全な糸数アブチラガマを広報し、成果目標(指標)を達成を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	①	優良繁殖牛導入支援事業	H26 ～ R3	市内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、和牛繁殖農家に対して優良繁殖雌牛の貸し付ける者に対して支援を行う。	優良母牛導入頭数：50頭	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合：117.1%以上	【今後のスケジュール】 発育能力の高い優良繁殖牛の導入を継続して支援し、母牛から産まれた子牛の平均価格の向上を目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	②	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ R3	酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の確保を図るため、優良乳用牛を導入し、市内の酪農家に貸し付ける。	優良乳用牛導入頭数：50頭	・乳用牛1頭あたりの生産乳量7,824kg以上(年間) ・乳質(脂肪率)：3.87%以上	【今後のスケジュール】 優良な乳用牛へ更新していき、酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の確保を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	③	山羊生産振興対策事業	R2	山羊生産農家の農作業負担を軽減し、山羊生産の拡大を図るため、生産者団体等が実施する農業機械の導入を支援する。	粗飼料管理機械一式導入	山羊飼養頭数：478頭以上	【今後のスケジュール】 農作業の軽減を図り、飼養頭数を増頭し、経営の安定化を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 機械利用組合の農家の飼養計画を参考に設定した。

R2活動目標(指標)：令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標)：令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	①	低炭素なまちづくり推進事業	H28 ～ R3	二酸化炭素排出量の削減を図るため、防犯灯の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替える防犯灯設置者(自治会)に対して補助を行う。	既存防犯灯のLED化955灯	二酸化炭素排出量の削減 98,963kg-CO2以上/年 削減	【今後のスケジュール】 事業効果を市広報誌等で周知する事により、市民に対しても、地球温暖化対策の意識啓発を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 防犯灯のLED化前後の消費電力の差及び補助対象の台数から、削減される二酸化炭素量の推計値を算定して設定した。
5	①	学習支援配置事業	H25 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、市内の小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の習熟の程度に応じた学習支援を行う。	・市立8小学校へ学習支援員8名配置 ・市立4中学校へ学習支援員4名配置	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校:県平均以上 ・中学校:県平均以上	【今後のスケジュール】 学習支援員の配置人数については検討を行い、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力向上に繋げる。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、市内の幼稚園、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、それぞれに対応した支援を行う。	・市内5幼稚園:特別支援教育支援員12名配置 ・市内8小学校:特別支援教育支援員34名配置 ・市内4中学校:特別支援教育支援員8名配置	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者のアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員の配置対象については検討を行い、特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 大多数の対象児童生徒等が支援員の対応に満足していると考えられる値として設定した。 また、本事業の効果についてアンケートにより検証する。
5	③	小・中学校電子黒板等整備事業	H28 ～ R2	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図るため、市内小中学校に電子黒板等を整備する。	市内小中学校(13校) 久高小中学校を含む46台整備 【普通教室20台(内支援学級14台)、特別教室26台】 ※ 特別教室については、学校アンケートをもとに計画 ・小学校 ⇒ 英語ルーム(8台) 音楽室(8台) ・中学校 ⇒ 音楽室(5台) 美術室(5台)	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上	【今後のスケジュール】 効果的に、電子黒板を授業に活用してもらうため、ICT支援員の配置や研修会等を継続的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
5	④	学習支援教材ソフト整備事業	R2 ～ R3	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図るため、市内小中学校に整備された電子黒板で稼働する指導者用デジタル教科書を整備する。	市内小学校9校(久高小含む)に、主要教科のデジタル教科書を整備する。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上	【今後のスケジュール】 沖縄県学力到達度調査において県平均を目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	①	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ～ R3	南城市の歴史・文化の継承を図るため、南城市の歴史・文化に関して調査、資料収集、編纂し、冊子として刊行する。また、刊行した冊子や調査成果を活用し、市民等を対象とした学習会を開催する。	・「南城市の沖縄戦 証言編」刊行(400部) ・「民俗編」会議(2回)、調査、原稿執筆 ・学習会の開催(2回)	学習会への参加人数 30人以上×2回	【今後のスケジュール】 R2:「南城市の沖縄戦 証言編」刊行、学習会開催2回 R3:「南城市の民俗」、「大里の民話」刊行、学習会開催2回	【R2成果目標設定の考え方】 類似取組の実績を参考に設定した。

R2活動目標(指標)：令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標)：令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。